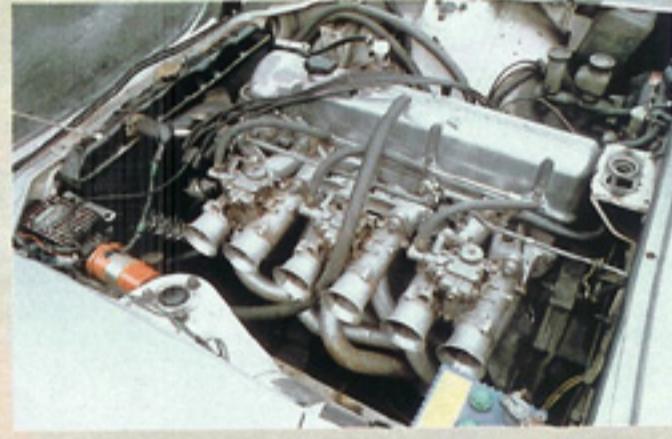




レーサーそのものの迫力を誇示するようになり出したワークスオーバーフェンダー、フロントスポイラー。今回のマシンの中では最も目立つマシンだった。エンジンはL28ベースの3.2L。ピストンは89・5mm、クラシック・コンロッドはイン44mm、エグゾースト36mm、ハイメム72、キャブレターはソレックス44φ、ミッションはクロス、デフはファイナル3でノンスリップ、オイルクーラー付。ホイールはスピードスター、F10J・R12J、タイヤはダンロップのスリックでF200/550、R1275、チューナーはチャレンジオリジナル。バルブレーブはオーナーの陸野サン。

ファイナル3.5のリミテッド、Z40Z用のミッショントマフラーが組み込まれている。赤く塗られたサイドマーカーと、エア・アウトレットで迫力を倍増させている。オーナーはF-1の源さん。



ミッショントマフラーは、レーシングカーメンバーのタコメーターは、運転席側にはタコメーターしかなく、スピードメーターは助手席側に付く。オーナーは荒井さん。



チャレンジで手がけた数少ないロータリー車の一台。ブラックボディに、リヤスピボイラーを付けている。エンジンは13Bサイドブリッジ加工、フライホイール軽量、ラジエター、キャブレターは48mmマフラーを付ける。



足まわりは強化サス・カヤバのショックで固める。アルミホイールはボルク、タイヤはチャレンジオリジナル。チューナーは藤田さん。

ミッショントマフラーは、レーシングカーメンバーのタコメーターは、運転席側にはタコメーターしかなく、スピードメーターは助手席側に付く。オーナーは荒井さん。